



# 千葉動力車

## カンボジア出兵阻止

### 自衛隊基地への出兵反対行動を!

政府・自民党は、九月八日PKO協力法に基づき、カンボジア・アンゴラに派遣する「国際平和協力隊」の業務を定めた実施計画を決定した。

その規模は、①停戦監視要員八名を九月一七・一八日頃、②文民警察要員七五名を来月中旬、③施設部隊六〇〇名については、先遣隊として九月二三日に三〇名、来月一日に一九〇名、本隊三八〇名を来月一三日に派遣するとしている。

又、その施設部隊の輸送・補給等にあたる海上・航空自衛隊員を含め、「平和協力隊員」として総数二〇三名がこれにあたるとうのだ。  
そして停戦監視要員・施設部隊

については、「勤務条件」を考慮し、派遣六ヶ月後に人員を交代させ、期間としては今月一日から来年一〇月三十一日までとしている。現地カンボジアでは、依然として

ポル・ポト派が武装解除を拒否しているという現実からも、PKO「五原則」をさえ満たしていない。そしてこの「一年間」という期間も、「恒常化」を策していることは明白なのだ。

要は、何がなんでも自衛隊を部隊として海外に派兵するということが前提にあり、半年ごとの交代を「通常化」させることによって、それを「国際貢献」の名の下に「当然」のことと意識させることに重点が置かれているのだ。

この決定によって法的な枠組みから、実際に自衛隊がアジア侵略のために、部隊としてうってでていくことが開始されるのである。その意味において、カンボジア出兵阻止の闘いは重大局面に突入したのだ!

われわれ労働者として、元従軍慰安婦をはじめアジア人民による日本の戦争責任追及の闘いに応

### 侵略戦争翼賛の連合をうち倒そう

九・二三 第一次先遣隊派遣に対する現地闘争

一〇・一 第二次先遣隊派遣に対する現地闘争

一〇・一一 「シンポ」粉砕に向け、反戦闘争の皆三三塚闘争の意味は大きい。

一〇・二二 自衛隊海外派兵にアジア侵略に対し、反戦デーの持つ意味の重大性は大きい。

九・一六 停戦監視要員派遣に対する闘いであり、当日三河台にて一五時より阻止集会

九・一三 PKO伊丹 闘争	派遣される先遣隊II施設部隊を伊丹駐屯地に集め閱兵式を行うことへの反対闘争
---------------	---------------------------------------

九・一三 派遣される先遣隊II施設部隊を伊丹駐屯地に集め閱兵式を行うことへの反対闘争	九・一六 停戦監視要員派遣に対する闘いであり、当日三河台にて一五時より阻止集会
--	---

以上のような行動が現在のところ入っている。  
憲法や戦後秩序を踏みじり、アジア侵略へ突き進む自民党政府にかけて、真の反戦闘争を対置し闘わなければならない!  
PKO海外派兵阻止の闘いに総力で立とう!

参加の原則はどこのへ  
ポル・ポト派  
武装解除も  
ならぬまま

毎日新聞 (夕刊) 9月8日

